

景観形成基準チェックシート

■一般基準

受付番号 ()

届出者	
連絡者 (代理届出を行う場合)	
軸・景域の別	

①建築物・工作物

※ 該当する基準の□にチェック(レ)をしてください。

項目	基準	軸・景域	
a 配置 周辺への配慮	<input type="checkbox"/> 周辺の環境や景観特性、地形に十分配慮した配置とする。	河川、山	
	<input type="checkbox"/> 地盤の高低差、河川の対岸からの見え方や、河川沿いに大きく変化する景観に配慮した配置とする。	谷あい	
	<input type="checkbox"/> 丘陵や背景の山々の稜線に配慮し、緩やかに起伏する地形に馴染む配置とする。	丘	
	<input type="checkbox"/> 集落で古くから親しんできた神社・寺院や社寺林・雑木林等の緑に配慮した配置とする。	田園	
	<input type="checkbox"/> 地域で祀られてきた神社・寺院、伝統的な農家住宅などの景観資源に配慮した配置とする。	掘割・クレーク	
	<input type="checkbox"/> 干拓とともに形成された列状集落等の並びや、地域で祀られてきた神社・寺院、伝統的農家住宅などの景観資源に配慮した配置とする。	干拓地	
	<input type="checkbox"/> 歴史的まちなみや建造物を活かしたまちづくりが進められている市街地においては、地区の特性に沿ったまちなみに配慮した配置とする。	まち	
b 形態・意匠・色彩	1 周辺との調和	<input type="checkbox"/> 上流の棚田や山村集落など、日本の原風景が残る地域においては、地域の基調となっている伝統的な形態・意匠と調和させる。	河川、山
		<input type="checkbox"/> 周囲の自然景観や集落の伝統的な形態・意匠と調和させる。	谷あい
		<input type="checkbox"/> 里山や古くからの集落が広がる地域では、周囲の基調となっている形態・意匠と調和させる。	丘
		<input type="checkbox"/> 周辺の景観と調和するよう、形態意匠を工夫する。	田園、干拓地、掘割・クレーク
		<input type="checkbox"/> 昔ながらの伝統的な佇まいを模範に、クレークが創り出している(又は広大な干拓地の)田園景観に馴染む形態意匠とする。	掘割・クレーク、干拓地
		<input type="checkbox"/> 商店街や役場周辺など、多くの人が集い賑わう場所においては、景観上重要な建物、樹木などへの見通しに配慮し、周辺の建物や公共空間のデザインとの調和を図る。	まち
	2 壁面の分節	<input type="checkbox"/> 大規模で長大な壁面となることは避け、可能な限り分節化する。	河川、谷あい、丘、田園、掘割・クレーク、干拓地、まち
	3 設備類	<input type="checkbox"/> 歩行者の視線に十分配慮し、道路や公園等の公共空間に接している面では、設備類を露出させない。	河川、谷あい、丘、田園、掘割・クレーク、干拓地、まち
	4 色彩	<input type="checkbox"/> 周囲の景観に調和する色彩とし、環境色彩基準に適合させる。	河川、山、田園、掘割・クレーク、干拓地、まち
		<input type="checkbox"/> 周囲の自然景観や田園景観と調和する色彩とし、環境色彩基準に適合させる。茶系、無彩色の暗い色彩を推奨する。	谷あい
<input type="checkbox"/> 周囲の茶畑などの田園景観や自然景観と調和する色彩とし、環境色彩基準に適合させる。緑系、茶系、無彩色の色彩を推奨する。		丘	
c 外構緑化等	敷地の緑化修景	<input type="checkbox"/> 自然の植生に配慮した緑化に努めるとともに、敷地境界部では、できるだけ多くの樹木による植栽を施す。	河川、山、谷あい、丘、田園、掘割・クレーク、干拓地
		<input type="checkbox"/> きるだけ多くの樹木による植栽を施す。	まち
	塀フェンス	<input type="checkbox"/> 敷地境界部では、ネットフェンスやブロック塀等は設置しない。やむを得ず設置する場合には、緑化による修景を施す。	河川

景観形成基準チェックシート

■一般基準

②開発行為・土地の形質の変更等

※ 該当する基準の□にチェック（レ）をしてください。

項 目	基 準	軸・景域
d 周辺環境	<input type="checkbox"/> 十分に事前調査を行い、水の流れや生態系など自然環境の維持に配慮する。	河川
	<input type="checkbox"/> 自然環境、植性、貴重な動植物の生態系に配慮する。	山
	<input type="checkbox"/> 掘割・クリークの水のネットワークに配慮する。	掘割・クリーク
e 造成、切土・盛土	<input type="checkbox"/> 既存の地形を活かした造成に努め、切土・盛土は最小限に抑える。	河川、山、谷あい、丘
	<input type="checkbox"/> 掘割・クリークの護岸については、石材などの自然素材をできるだけ使用するなど周辺の景観に配慮して修景する。	掘割・クリーク
f 既存樹木・樹林等の保全	<input type="checkbox"/> まとまった斜面地の樹林帯や河岸の楠並木については、できるだけ保全する。	河川、谷あい、丘
	<input type="checkbox"/> 田園の中の一団にまとまった緑や雑木林、社寺林等や、河川や水路（又は掘割・クリーク）沿いの樹林や灌木、木竹等は、できるだけ維持・保全する。	田園、干拓地、掘割・クリーク

③外観照明・屋外照明

※ 該当する基準の□にチェック（レ）をしてください。

項 目	基 準	軸・景域
g 照度の抑制	<input type="checkbox"/> 河川景観および周辺の自然景観、田園景観を阻害しないよう、必要最小限の明るさとする。	河川
	<input type="checkbox"/> 良好な夜間景観を阻害しないよう、必要最小限の明るさとする。	山、谷あい、丘
h 点滅照明	<input type="checkbox"/> 点滅照明は、設置しない。	河川、山、谷あい、丘、田園、干拓地、掘割・クリーク
i 照明器具	<input type="checkbox"/> 派手な照明器具は設置しない。	河川、山、谷あい、丘

景観形成基準チェックシート

■一般基準

①建築物・工作物

項 目		配慮・措置の内容	* 審査欄
a 配置	周辺への配慮		
b 形態・意匠・色彩	周辺との調和		
	壁面の分節		
	設備類		
	色彩		
c 外構・緑化等	敷地の緑化・修景		
	塀・フェンス		

②開発行為・土地の形質の変更等

項 目		配慮・措置の内容	* 審査欄
d 周辺環境			
e 造成、切土・盛土			
f 既存樹木・樹林等の保全			

③外観照明・屋外照明

項 目		配慮・措置の内容	* 審査欄
g 照度の抑制			
h 点滅照明			
i 照明器具			

- (備考) 1. 配慮・措置の内容はできるだけ具体的に記述してください。
2. *審査欄は記入しないでください。